

# R4年度 自己評価及び学校関係者評価結果

三松幼稚園

## 1 幼稚園の教育目標

本園では、「自然性尊重・自主性育成・社会性涵養」を教育目標として、子ども本来の姿を伸ばし、豊かな人間性を育成することを願い日々保育に取り組む。

本園ではめざす幼児像として次の3項目掲げる。

1子どもらしい子ども 2自分のことは自分でする子ども 3友だちと仲よく遊べる子ども

## 2 本年度の重点課題

「生きる力」を育む・自ら考え発言・行動する。

## 3 自己評価及び学校関係者評価

評価項目	具体的取組と自己評価	園評価	学校関係者評価及び改善策	学校関係者評価
①保育の計画性	年度当初に園としての方向性を伝え、各学年の目標を設定し、達成できるよう努めた。 キャリア年間指導計画を立て、それを基に月案週案を作成し、保育にあたるように指導した。週終わりには反省・課題を報告し、園長・主幹教諭からの指導を仰いだ。 行事については職員全体で協議し、進めていった。	B	学期ごとの成長が分かるようになった。目に見える成長も大事だが、心の成長の部分に力を注いでくれているのが理解できた。 新型コロナウイルス感染症対策がしっかりと取られていた為、安心して行事に参加できた。行事変更等、試行錯誤し子ども達の心に寄り添って下さった事に感謝します。	A
②保育のあり方、幼児への対応	子ども達の「やってみたい！」という気持ちを大切に、実行に移した。諦めたり、逃げ出さずにやり遂げた事を褒めて、自信も持ってもらよう努めた。 援助が必要な子どもへの対応を研修を通して学んだ。また、関係医療機関と連携し、指導を仰ぎながら保育できた。 子ども一人ひとりの性格や人間性を見極め、その園児にあった声掛けや細かな保育指導にあたるよう努めた。	A	保護者は園を信頼できて安心して子どもを預けることができる。 専門家の指導を受けていることは大変いい事です。ね。 引続き連携を取って、保育に活かして欲しい。 先生が担当学年かかわらず子ども達を見てくれている。チーム保育ができています。	A
③教師としての資質・能力・適性について	「子ども達の為に」を意識し、日々何が出来るのかを討議し、職員間で話し合いをする機会を多く取り入れた。 幅広い視野をもつことを意識するよう努めた。 今、何をすべきか・どうしたらよいかを常に考え、行動に移すようにした。	B	先生が全力で子ども達と関わってくれているのが伝わった。これからもよろしく願います。 研修で学んだこと、良いと思ったことをどんどん取り入れて保育に活かしてほしい。 今の時代にあった保育もどんどん取り入れ、アンテナ高くし、子ども達にとって最適な保育をしてください。	B
④保護者への対応	新型コロナウイルス感染拡大していた為、参観会を学年ごとに開催し、子ども達の園での様子をみてもらうようにした。 ブログで日々の保育の出来事を発信していくことができた。引き続き園の保育の在り方を理解していただけるよう努めていく。	B	園日より等がペーパーレス化になりアプリで確認できるようになって良かった。環境にも配慮していて良い。 引続き、保護者との良好な関係を築いていってほしいです。	B
⑤地域の自然や社会との関わり	三ヶ日の自然環境を生かす保育(園外保育)をするよう心掛けた。 町内幼保小との連携を図り、情報共有や意見交換の場を設けることができなかった	B	コロナ禍での園外保育には苦慮していたようですが、中でも四季を通しての散歩等は大事なことと感じる。 感染予防対策を取りながらも地域のお年寄りの方と交流が持てたことは良かったと思う。	A
⑥研修と研究	コロナ禍で集合研修へ参加は減ったが、オンライン研修を通して職員一人ひとりが目的意識を持ち、自主的に保育の質の向上に努めた。 園内研修で、職員それぞれが意見を述べたり、発言をし、自主性を高めるように努めた。 「幼児期に育てたい10の姿」を認識し、共通理解を深めるように努めた。	B	先生方が色々な研修に参加しているのだなと思った。 研修で学んだことを保育に活かしてくれていることを知った。 「働き方改革」は引き続き取り組んでいってほしい。 研修以外にも先生方一人ひとりが「スキルアップ」につながる取り組みがなされていることを知った。	A

## 4 総合的な評価結果

結果	理由
B	園としての教育目標に向かって保育に取り組んでいる様子が見られた。「報告・連絡・相談」を職員間でしっかり行い、情報共有をしてほしい。

## 5 今後取り組むべき課題

三ヶ日町の出生率の低下、人口減少により園児数も年々減少している。今後、人口増加に転じるということは考えにくいためどう補っていくか考えていく必要がある。  
職員を増やしていく必要があると感じる。採用活動を引き続き継続していく。  
園児のけが・事故には気を付けながら体力向上に努めていく。

## 6 学校関係者評価委員会の総合的な評価

各項目毎、具体的な取組や、その反省課題を元に目標達成にむけて教職員が一丸となって努力していることがよくわかった。